

Japan
15 MAY 2014
Vol. 51

THE OTSUKA WHATS & WHOS

Otsuka
people creating
new products
for better health
worldwide

月へ送る子どもたちの夢を募集中！



月へのメッセージを書いた子供たちと宇宙飛行士の山崎直子氏(左)と水泳選手の寺川綾氏(右)

ポカリスエットが史上初の月面到達飲料に挑戦

「LUNAR DREAM CAPSULE PROJECT」(「ルナドリーム カプセル プロジェクト」以下、「ルナ・プロジェクト」)は民間企業のみで目指す初めての月面到達プロジェクトです。いまや宇宙旅行は、国家プロジェクトレベルでなく民間の手でも実現できる時代になったのです。

ルナ・プロジェクトの目的は、飲料を月に送り出すことだけではありません。このプロジェクトをきっかけに、月や宇宙に興味を持った若者たちが、いつの日か夢を現実のものとして、今度は自らの力で「ドリームカプセル」を取りに行き、月の水で溶かしたポカリスエットでのどをうるおしてくれる、そんな夢の日が来ることを願っています。

ドリームカプセルにのせて、君の夢を月へ届けよう!

<http://lunar-dream.com/join/>

大塚製薬の副社長である梅野雅之は、プロジェクトへの想いを語りました。「大塚製薬は人の身体に近い水の研究を長年続け、その成果を元に 1980 年にポカリスエットを発売しました。2013 年、NASA から月に水があるという発表があったことを聞き、このプロジェクトに参加したいと決めたのです」

ドリームカプセルのなかには、国内外の小学校から集められた子供たちのメッセージがおさめられる予定です。

ドリームカプセルはポカリスエット缶に似た形の 1000g のチタン製で、夢を刻んだメッセージプレートと共に、ポカリスエットの粉末が入っています。日中 110℃、夜間マイナス 170℃にもなる月面の過酷な環境下で年月を経ても耐えうるように、本プロジェクトのために開発されました

設計・技術の総合プロデュースを手がけるアストロスケール社の岡田光信氏は、ドリームカプセルの構造について説明しました。

「日本の中小企業の技術力は驚くべきものがあり、このプロジェクトのために全勢力を結集しています。宇宙にモノを持っていくにはロケットの振動、重力の違いや真空状態、放射線などの影響を考えなければなりません。例えば、このドリームカプセルの『青』。着色した部品を宇宙に持っていくのは難しく、従来のロケットや人工衛星には色が使われていません。しかし、今回は日本の中小企業の知恵と技術で特殊な青を作りだし、NASA の試験もパスしています。」



ドリームカプセルを手にする大塚製薬株式会社副社長梅野雅之氏





夢と技術が詰め込まれたドリームカプセルを月に運ぶのが米国で宇宙開発事業を行うアストロボティック社。

フロリダ州から月着陸機「GRIFFIN」をロケットで打ち上げ、約4日で月に到着。高度約 100km の周回軌道を回った後に月面に軟着陸する、という探査計画を CEO のジョン・ソントン氏が説明しました。

そして、「月の着陸地(LACUS MORTIS)は地下に洞窟が連なる可能性があるユニークな場所で、このような地形は日本の月探査機『かぐや』が発見したものの。この近くに着陸し、必ず皆さんのメッセージを届けます」と語りました。



内閣府副大臣の後藤田正純議員

内閣府宇宙政策担当副大臣の後藤田正純議員は、この民間のプロジェクトについて「これはまさに、国家が本来やるべきプロジェクト。心からの敬意と感謝を申し上げたい。」と語るとともに、「このプロジェクトには科学技術、官から民への流れ、中小企業の参画、教育問題など様々な観点が含まれています。私たちも大臣の下で官民一体となって、日本の宇宙政策を頑張って進めていく。このプロジェクトが無事に成功し、近い将来、月に降り立つ時も人類が素晴らしいものでありますように。」とも述べられました。

Otsuka's Activity in Space Nutrition ~Anytime, Anywhere, Also in Space~



2014

史上初の月面到達飲料への挑戦
ルナ ドリームカプセル プロジェクト 始動

1983

バランス栄養食
「カロリーメイト」発売



1989

フランスの宇宙食を
輸入販売



2001

「ポカリスエット」
世界初 ISSでCM撮影

